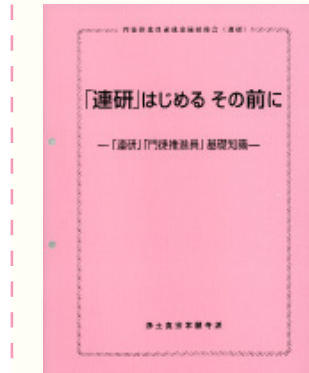


トップニュース



呼びかけ 山口教区は昨年10月、門徒推進員養成連続研修会(連研)の開催促進のため、模擬連研を体験する「オープン連研」を山口市の山口別院で開催。話し合い法座などを開き、「連研」の魅力を伝えた

「連研」と門徒推進員制度(連研)が宗門全体で一斉に始まったのは1978年(昭和53)年。その起源は、1961(昭和36)年に第23代宗主勝如上人が「親鸞聖人七百回大遠忌法要御満座消息」でお示しくださった願いにさかのぼります。これに心を動かされた「あなたを育てよう」というスローガンのもと始まったのが「門徒推進員」であり、「連研」はその中核を担う取り組みとして各地で実践されてきました。以来、50年弱。門徒と僧侶とともに「念仏者としての生き方を学ぶ」という「連研」は、1万人を超える門徒推進員を生み、寺院や地域において多くの縁を育んできました。



「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を、僧侶とともに強力に推進する門徒推進員を養成するため、主に組を単位として、連続的に開催される門徒推進員養成連続研修会(連研)。すでに多くの組などで開催されているが、新たな開催や再開を願い、その一助としてこのほど、『連研』は始めるその前に―「連研」門徒推進員基礎知識―(写真)が本願寺出版社から発刊された。本書発刊の願いや活用方法、「連研」の意義などを、編集に携わった松野尾浩慈さん(愛知県岡崎市・明願寺住職)に執筆してもらった。

「連研」が始まる 1978年に「連研」は始めるその前に―「連研」門徒推進員基礎知識―(写真)が本願寺出版社から発刊された。本書発刊の願いや活用方法、「連研」の意義などを、編集に携わった松野尾浩慈さん(愛知県岡崎市・明願寺住職)に執筆してもらった。

「連研」は始めるその前に 発刊の願い



松野尾浩慈

門徒推進員の礎を築く「連研」

ともに問い、聞き、語り合う場を

「連研」の意義 多面的に紹介 本書では、「連研」の立ち上がりから実際の開催方法、参加者の声、そしてその成果と課題まで、多面的に紹介されています。加えて、連研修了後に受講する「門徒推進員中央研修」(中央教修)についても、その概要や制度の変遷が丁寧に紹介されており、門徒推進員としての役割や責任の重みについて、その思いと任務の両面から理解を深めるための、大きな助けとなる内容となっています。



再開 大阪教区茨田組は昨年9月、25年ぶりに「連研」を再開させた。受講者に門徒推進員は「連研」や中央教修活動によってしか味わえない感動がある。共にいろいろな活動をしていこう」と呼びかけた。特に、「話し合い法座を中心とした学びの場は、門徒と僧侶がともに苦悩を分かち合い、み教えに照らして語り合うかけがえない時間です。その対話を通して、仏さまの願いに生かされること、念仏者としてどう歩むのかをともに考えていきます。また、本書では「連研」の教材として使用される『連研ノート』の活用や、教区・寺院単位での柔軟な開催方法、研修講師の育成制度なども詳述されており、初めての方でも「連研」を立ち上げるための具体的な手がかりが得られます。より具体的な事例については、『連研』のすずめ(本願寺出版社刊)もぜひご参照ください。



浄土真宗本願寺派 傷害・医療保険 あんのん医療保険 団体割引30% 【加入対象者】浄土真宗本願寺派の住職・僧侶・寺族・門徒およびその家族 病気やケガによる入院や手術等を幅広く補償。(天災によるケガも対象) ◆1日5,000円プランより ◆入院1日目より補償 ★新規加入は満79歳まで、継続加入は満89歳まで拡大 介護・がんのリスクにも対応!! 介護特約 要介護2以上の認定、または保険会社所定の要介護状態が90日を超え継続した場合に、一時金で100~300万円を補償 がん特約 がん診断一時金 がん通院治療費用 にかかると特約もセット可能 0120-37-0243 https://www.purani-hongwanjihahoken.com

御本山御用達 開明社員 井筒法衣店 代表取締役社長 今川隆代 600-8468 京都市下京区堀川通 新花屋町角(本願寺) TEL 075-351-1234 FAX 0120-075-7200 EMail 075-341-7905 ●東京店 160-0008 東京都新宿区四谷 TEL 03-358-1500 FAX 03-359-8992 ●オンラインショップはこちらから

最新刊 他力真宗の味わいを俳句とエッセイに読む 悪人の俳句・善人の俳句 他力の五七五 橋本半風子著 四六判・上製・232頁 2640円 他力真宗の味わいを俳句とエッセイに読む 悪人の俳句・善人の俳句 他力の五七五 橋本半風子著 四六判・上製・160頁 2640円

お坊さんみ跡をめぐる part 2 間名寺(富山県八尾町) 「越中おわら風の盆」で有名な八尾町にある、第3代覚如上人ゆかりの間名寺を訪れました。 ●DAIJO法話 ……中川大城 ●ご機言!お寺の掲示板 ……江田智昭 ●結婚してお坊さんになりました ……前田純代 ●みりののエッセイ ……四夷法頭 ●大乗 ほうわ・HOWA・法話 ……大田利生 年間購読料 4,500円(税・送料込) 1冊 375円(税・送料込) 本願寺出版社 0120-464-583 7600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下(本願寺) FAX 075-341-7753 https://hongwanji-shuppan.com/